

# 1. 建設投資の概況

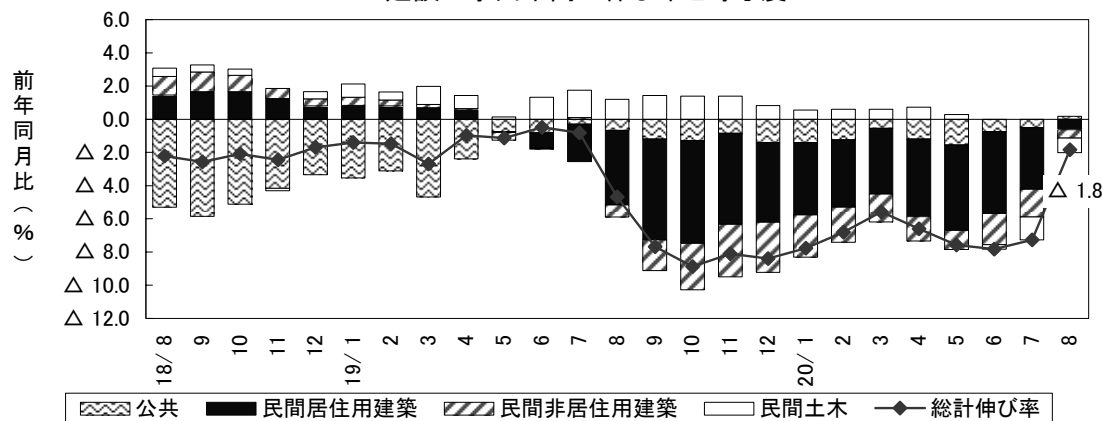
## (1) 建設工事出来高

8月の建設工事出来高は、全体で4兆333億円と前年同月比1.8%減少した。

公共は、建築が1,847億円（前年同月比1.1%減）、土木が1兆391億円（同0.9%増）となり、全体では1兆2,237億円（同0.6%増）となった。

民間は、建築が2兆2,926億円（前年同月比2.0%減）、土木が5,170億円（同6.5%減）となり、全体では2兆8,096億円（同2.9%減）となった。

建設工事出来高の伸び率と寄与度



(単位：億円)

区分		総計	民間	建築		土木	公共	
年度年月	居住用			非居住用				
年	17年度	536,080	338,704	278,771	188,528	90,242	59,934	197,376
	18	528,833	353,226	289,561	195,441	94,119	63,665	175,608
	19	500,514	330,587	261,618	176,043	85,575	68,969	169,927
月	20年5月	34,047	24,909	19,922	13,160	6,763	4,986	9,139
	6	35,684	25,871	20,650	13,751	6,898	5,222	9,812
	7	37,589	26,968	21,807	14,461	7,346	5,161	10,621
	8	40,333	28,096	22,926	15,170	7,756	5,170	12,237

(前年比・%)

年	17年度	1.3	3.8	3.3	1.2	8.0	6.3	△ 2.9
	18	△ 1.4	4.3	3.9	3.7	4.3	6.2	△ 11.0
	19	△ 5.4	△ 6.4	△ 9.6	△ 9.9	△ 9.1	8.3	△ 3.2
月	19年8月	△ 4.7	△ 5.7	△ 8.8	△ 11.2	△ 3.7	10.3	△ 2.3
	9	△ 7.7	△ 9.5	△ 14.0	△ 15.8	△ 10.0	12.3	△ 3.8
	10	△ 8.9	△ 11.6	△ 16.6	△ 16.9	△ 15.8	12.4	△ 3.7
	11	△ 8.1	△ 11.4	△ 16.5	△ 15.4	△ 18.7	12.5	△ 2.3
	12	△ 8.4	△ 11.2	△ 15.4	△ 13.9	△ 18.6	7.1	△ 3.7
	20年1月	△ 7.8	△ 10.3	△ 13.7	△ 12.8	△ 15.7	4.7	△ 3.7
	2	△ 6.8	△ 8.8	△ 12.1	△ 11.8	△ 12.7	5.1	△ 3.4
	3	△ 5.6	△ 7.9	△ 11.5	△ 12.1	△ 10.3	4.3	△ 1.5
次	4	△ 6.6	△ 8.0	△ 11.2	△ 12.7	△ 8.2	5.7	△ 3.7
	5	△ 7.6	△ 8.2	△ 10.4	△ 12.6	△ 5.9	2.1	△ 5.8
	6	△ 7.8	△ 9.6	△ 11.3	△ 12.2	△ 9.6	△ 1.9	△ 2.9
	7	△ 7.3	△ 9.2	△ 9.1	△ 9.4	△ 8.4	△ 9.7	△ 1.9
	8	△ 1.8	△ 2.9	△ 2.0	△ 1.7	△ 2.6	△ 6.5	0.6
累計	4月～8月	△ 6.2	△ 7.6	△ 8.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 2.3	△ 2.6

資料：国土交通省「建設総合統計」

注) 平成12年度以降のデータに対して、遡及して計算結果等の見直しを行っている。

## (2) 公共機関からの受注工事

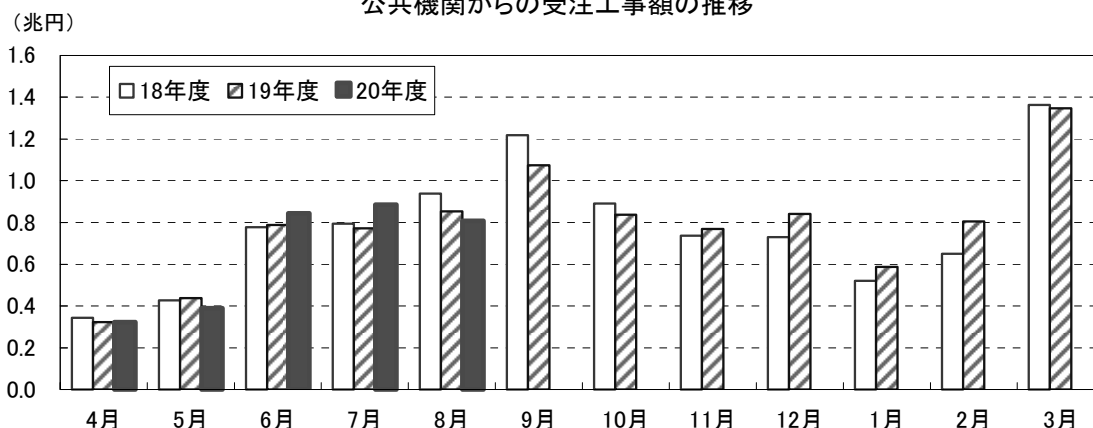
8月の公共機関からの受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は、8,074億円で、前年同月比5.4%減少（3ヶ月ぶり）した。うち国の機関からは2,775億円で同5.8%増加（3ヶ月連続）、地方の機関からは5,299億円で同10.3%減少（3ヶ月ぶり）した。

工事分類別で見ると、道路（前年同月比9.8%増、寄与度+2.8）、鉄道・軌道（同104.0%増、寄与度+1.1）等が増加し、下水道（同23.8%減、寄与度-3.2）、その他（同44.1%減、寄与度-1.9）等が減少した。

さらに、発注機関・工事分類別で見ると、都道府県の教育・病院（寄与度-4.8）、市区町村の下水道（寄与度-2.6）等のマイナスの寄与度が大きい。

8月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比14.0%増加（3ヶ月連続）した。

公共機関からの受注工事額の推移

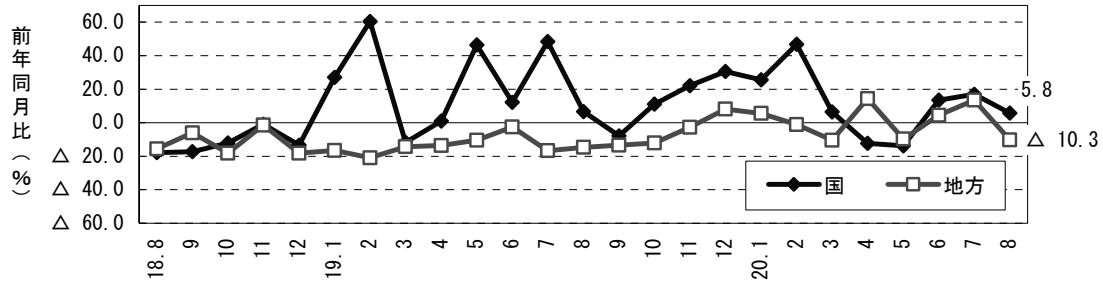


公共機関からの受注工事額（前年比・%）

区分	年度年月	総計	国の機関			地方の機関					
			小計	国	国以外の機関	小計	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他	
年	17年度	△ 10.2	△ 17.5	△ 23.3	△ 8.2	△ 6.1	△ 4.4	△ 10.4	19.6	△ 17.9	
	18年度	△ 12.8	△ 10.0	△ 3.6	△ 18.5	△ 14.2	△ 15.2	△ 12.8	△ 16.9	△ 13.8	
	19年度	0.5	16.9	8.7	29.7	△ 8.0	△ 2.8	△ 11.4	△ 2.5	△ 33.5	
月	19年8月	△ 9.1	6.7	14.3	△ 3.9	△ 14.7	7.8	△ 31.9	2.3	△ 33.3	
	9月	△ 11.8	△ 8.0	△ 22.4	20.3	△ 13.5	△ 7.0	△ 22.4	14.4	△ 41.2	
	10月	△ 6.0	11.2	13.0	8.8	△ 12.2	△ 18.7	8.8	△ 25.6	△ 63.9	
	11月	4.3	22.2	4.8	43.7	△ 2.7	2.5	1.6	△ 35.9	△ 16.4	
	12月	15.2	30.6	27.8	32.9	8.2	17.9	1.1	5.0	△ 27.2	
	20年1月	12.8	25.7	26.9	24.2	5.6	41.6	△ 9.5	△ 49.4	△ 27.0	
	2月	24.0	46.8	56.0	35.4	△ 1.0	△ 0.6	△ 6.2	53.5	△ 34.3	
	3月	△ 1.2	6.6	4.7	10.2	△ 10.5	△ 11.4	△ 2.8	△ 13.3	△ 47.6	
次	4月	0.1	△ 12.3	△ 12.7	△ 11.8	14.3	△ 12.4	18.5	51.9	57.1	
	5月	△ 11.1	△ 13.8	26.1	△ 38.8	△ 9.7	△ 37.4	1.5	40.6	△ 3.7	
	6月	7.1	13.5	△ 35.2	88.3	4.5	9.9	0.1	5.4	24.2	
	7月	14.7	17.0	21.1	11.9	13.5	6.5	22.5	△ 14.7	55.4	
	8月	△ 5.4	5.8	△ 9.6	31.1	△ 10.3	△ 9.2	△ 1.7	△ 42.4	△ 27.2	
	累計	4月～8月	2.4	4.5	△ 5.4	16.8	1.3	△ 5.0	6.6	△ 4.0	14.9

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

発注機関別受注工事額の伸び率



政府建設投資関連指標

(単位:億円)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
18年度	93,878	31,969	61,909	20,867	122,838	175,608	211,492
19	94,329	37,381	56,948	21,031	117,818	169,927	211,377
19年Ⅲ期	26,981	8,482	18,499	3,998	31,680	36,906	44,856
Ⅳ	24,473	8,148	16,326	4,162	28,811	52,333	61,306
20年Ⅰ期	27,398	15,264	12,134	9,427	26,287	47,664	64,804
Ⅱ	15,555	5,386	10,170	4,045	28,444	31,682	38,922
20年3月	13,464	7,912	5,551	4,369	13,845	17,253	
4	3,224	1,514	1,710	759	11,025	12,731	
5	3,892	1,254	2,638	839	7,675	9,139	
6	8,439	2,618	5,821	2,447	9,743	9,812	
7	8,851	2,955	5,896	2,057	12,202	10,621	
8	8,074	2,775	5,299	1,530	9,253	12,237	

(前年比・%)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
18年度	△ 12.8	△ 10.0	△ 14.2	△ 15.6	△ 5.2	△ 11.0	△ 8.0
19	0.5	16.9	△ 8.0	0.8	△ 4.1	△ 3.2	△ 0.1
19年Ⅲ期	△ 8.5	9.0	△ 14.8	△ 23.1	△ 7.3	△ 2.5	0.9
Ⅳ	3.8	21.2	△ 3.1	△ 7.2	△ 2.9	△ 3.3	△ 0.2
20年Ⅰ期	8.1	20.2	△ 3.9	18.8	△ 5.2	△ 2.8	0.2
Ⅱ	0.5	△ 1.9	1.8	17.4	△ 8.4	△ 4.1	△ 3.5
19年8月	△ 9.1	6.7	△ 14.7	△ 20.1	△ 5.1	△ 2.3	
9	△ 11.8	△ 8.0	△ 13.5	△ 34.4	△ 12.1	△ 3.8	
10	△ 6.0	11.2	△ 12.2	△ 38.6	△ 3.2	△ 3.7	
11	4.3	22.2	△ 2.7	△ 15.1	△ 4.3	△ 2.3	
12	15.2	30.6	8.2	27.5	△ 1.1	△ 3.7	
20年1月	12.8	25.7	5.6	36.0	△ 3.5	△ 3.7	
2	24.0	46.8	△ 1.0	45.9	13.1	△ 3.4	
3	△ 1.2	6.6	△ 10.5	△ 0.4	△ 12.6	△ 1.5	
4	0.1	△ 12.3	14.3	△ 3.3	△ 4.7	△ 3.7	
5	△ 11.1	△ 13.8	△ 9.7	△ 12.7	△ 9.6	△ 5.8	
6	7.1	13.5	4.5	44.0	△ 11.3	△ 2.9	
7	14.7	17.0	13.5	93.9	13.8	△ 1.9	
8	△ 5.4	5.8	△ 10.3	14.0	△ 6.0	0.6	
4月~8月	2.4	4.5	1.3	30.5	△ 3.3	△ 2.6	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」「建設総合統計」、内閣府「四半期別GDP速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

注) 公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※) 公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、公共工事請負金額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

### (3) 住宅

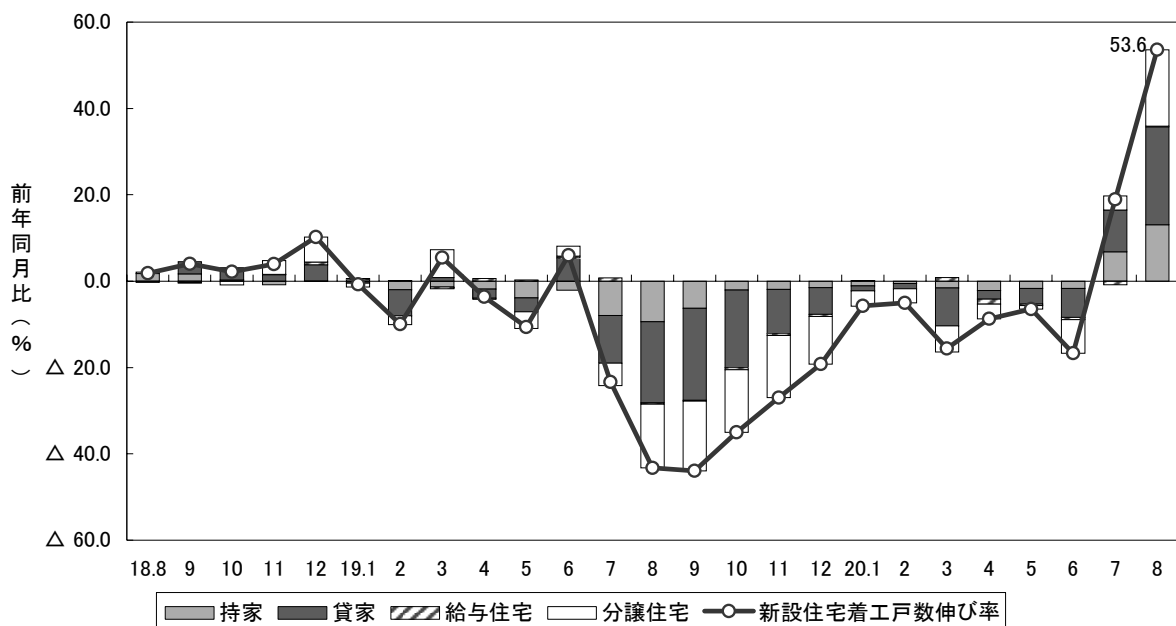
8月の着工は96,905戸。前年同月比で見ると、持家、貸家、分譲住宅ともに増加したため、全体で53.6%増加（2ヶ月連続）した。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成19年4-6月期 1,270千戸（前期比 2.5%増）、7-9月期 799千戸（同 37.1%減）、10-12月期 961千戸（同 20.3%増）、平成20年1-3月期 1,127千戸（同 17.2%増）、4-6月期 1,132千戸（同 0.5%増）、7月 1,144千戸（前月比 1.2%増）、8月 1,130千戸（同 1.2%減）となった。

新設住宅着工戸数（戸、前年比・%）

区分		総戸数	総計	持家	貸家	分譲住宅	マンション	季節調整済 年率換算値 総戸数 (千戸)
年度年月								
年	17年度	1,249,366	4.7	△ 4.0	10.8	6.1	11.2	
	18	1,285,246	2.9	0.9	3.9	3.3	4.8	
	19	1,035,598	△ 19.4	△ 12.3	△ 19.9	△ 26.1	△ 34.0	
月	19年 8月	63,076	△ 43.3	△ 31.0	△ 46.6	△ 52.0	△ 63.2	736
	9	63,018	△ 44.0	△ 21.6	△ 51.3	△ 55.6	△ 74.8	730
	10	76,920	△ 35.0	△ 8.0	△ 40.2	△ 50.2	△ 71.1	857
	11	84,252	△ 27.0	△ 7.6	△ 23.4	△ 47.4	△ 63.9	956
	12	87,214	△ 19.2	△ 6.0	△ 14.4	△ 35.5	△ 49.7	1,050
	20年 1月	86,971	△ 5.7	△ 4.2	△ 2.7	△ 11.6	△ 12.0	1,187
	2	82,962	△ 5.0	△ 2.1	△ 3.1	△ 9.7	△ 11.9	1,150
	3	83,991	△ 15.6	△ 6.1	△ 22.0	△ 18.0	△ 22.2	1,088
	4	97,930	△ 8.7	△ 7.8	△ 5.3	△ 10.4	△ 10.7	1,151
	5	90,804	△ 6.5	△ 5.7	△ 8.6	△ 3.1	4.0	1,072
	6	100,929	△ 16.7	△ 6.6	△ 15.1	△ 27.2	△ 36.5	1,130
	7	97,212	19.0	23.1	22.7	12.7	15.9	1,144
8	96,905	53.6	35.6	59.6	73.7	128.8	1,130	
累計	4月～8月	483,780	2.9	5.7	4.3	0.1	1.0	—

新設住宅着工戸数の伸び率と利用関係別寄与度



資料：国土交通省「建築着工統計調査」

<持家>

8月の着工は 31,444 戸。すべての地域で増加し、全体では前年同月比 35.6%増加（2ヶ月連続）した。

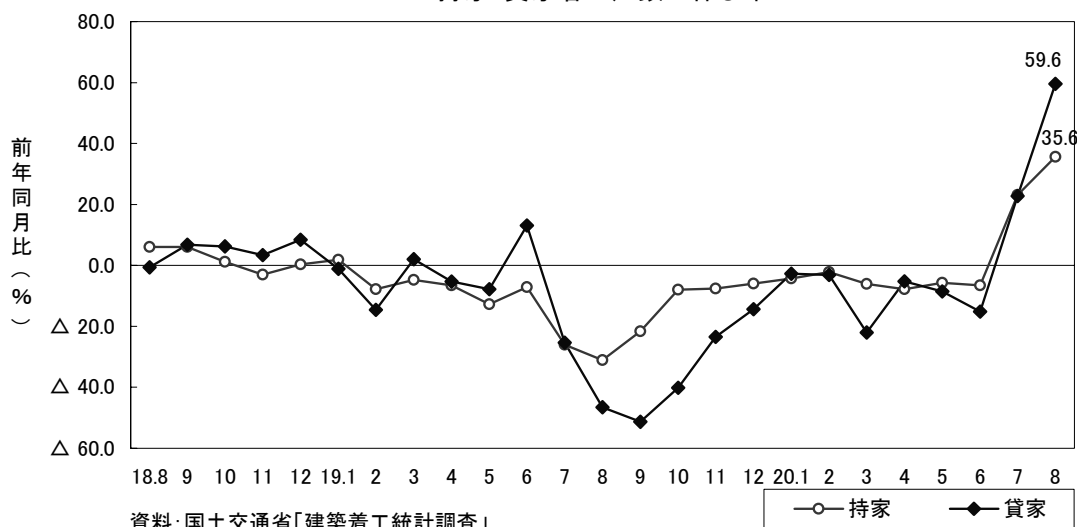
<貸家>

8月の着工は 38,304 戸。すべての地域で増加し、全体では前年同月比 59.6%増加（2ヶ月連続）した。

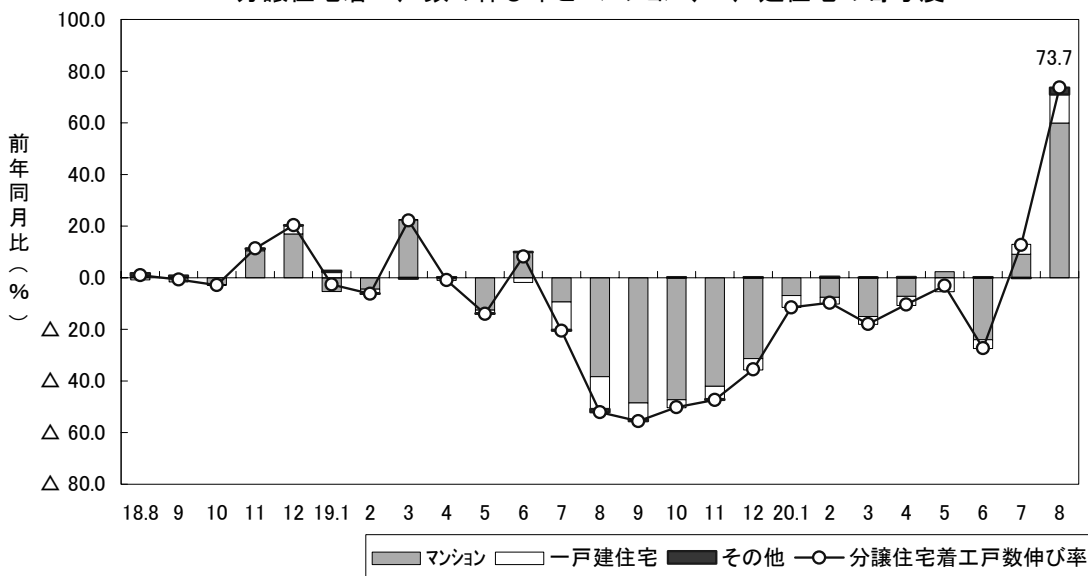
<分譲>

8月の着工は 26,412 戸。中国及び沖縄では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比 73.7%増加（2ヶ月連続）した。マンションは 16,171 戸で、首都圏は増加（9,012 戸、前年同月比 193.6%増、2ヶ月連続）、中部圏は増加（944 戸、同 40.5%増、2ヶ月連続）、近畿圏は増加（2,902 戸、同 42.3%増、4ヶ月ぶり）、その他の地域は増加（3,313 戸、同 157.0%増、2ヶ月連続）し、全体では同 128.8%増加（2ヶ月連続）した。一戸建住宅は 10,089 戸で、同 25.3%増加（2ヶ月連続）した。

持家・貸家着工戸数の伸び率



分譲住宅着工戸数の伸び率とマンション、一戸建住宅の寄与度



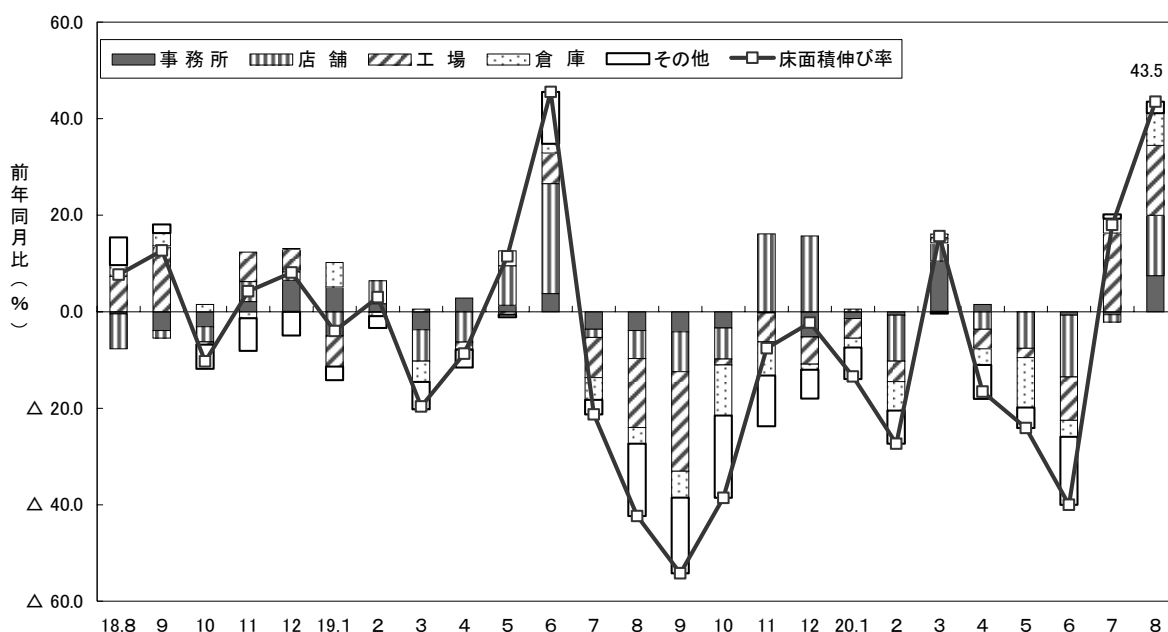
#### (4) 民間非居住建築

8月の着工床面積は497万㎡で、前年同月比43.5%増加(2ヶ月連続)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は60万㎡で前年同月比75.7%増加(3ヶ月ぶり)、店舗は84万㎡で同107.1%増加(5ヶ月ぶり)、工場は115万㎡で同77.6%増加(2ヶ月連続)、倉庫は94万㎡で同32.6%増加(2ヶ月連続)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成20年9月実施)で平成20年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比5.6%増加(平成19年度前年度比4.6%増加)となり、非製造業(大企業)は同0.7%減少(平成19年度同5.0%増加)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断DI(過剰-不足)をみると、「最近」は1、「先行き」は1となり、設備過剰感は緩やかに高まっている。

民間非居住用建築物着工床面積の伸び率と用途別寄与度



区分		床面積					工事費予定額				
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年	17年度	3.8	△ 4.4	9.7	6.8	16.3	6.2	△ 9.6	17.0	13.2	17.6
	18	0.6	2.5	△ 9.5	8.8	8.9	3.2	2.1	△ 3.1	10.3	17.4
	19	△ 12.2	△ 5.2	14.9	△ 21.9	△ 19.1	△ 8.3	3.2	13.6	△ 15.1	△ 13.4
月	19年8月	△ 42.4	△ 40.6	△ 46.3	△ 57.1	△ 22.0	△ 39.0	△ 35.2	△ 42.1	△ 57.1	△ 10.7
	9	△ 54.2	△ 48.0	△ 52.7	△ 74.9	△ 42.4	△ 47.5	△ 39.3	△ 47.1	△ 73.0	△ 37.1
	10	△ 38.6	△ 32.1	△ 47.7	△ 5.6	△ 67.4	△ 34.9	△ 19.8	△ 40.6	11.8	△ 68.7
	11	△ 7.6	△ 2.5	82.1	△ 26.9	△ 53.3	△ 13.6	△ 7.0	49.9	△ 6.9	△ 46.8
	12	△ 2.3	△ 38.8	73.8	△ 24.6	△ 10.2	△ 6.5	△ 35.9	26.9	△ 18.6	6.0
	20年1月	△ 13.4	△ 10.9	3.0	△ 21.3	△ 10.9	△ 6.5	△ 5.3	18.2	△ 26.7	△ 0.3
	2	△ 27.3	△ 6.7	△ 43.9	△ 19.5	△ 40.0	△ 16.0	17.4	△ 36.6	2.7	△ 35.4
	3	15.7	85.3	22.8	4.4	5.0	36.8	142.2	29.0	30.9	△ 1.3
次	4	△ 16.6	10.6	△ 23.4	△ 18.1	△ 23.5	△ 5.6	26.6	△ 33.0	△ 4.5	△ 5.9
	5	△ 24.1	0.3	△ 37.8	△ 9.5	△ 49.7	3.7	6.4	△ 17.8	4.8	△ 27.9
	6	△ 40.0	△ 7.6	△ 49.5	△ 41.9	△ 29.1	△ 33.6	4.9	△ 44.6	△ 26.6	△ 13.4
	7	18.0	△ 6.6	△ 7.8	81.3	20.3	76.9	16.1	1.6	336.4	13.0
	8	43.5	75.7	107.1	77.6	32.6	64.0	88.4	169.5	109.2	96.2
累計	4月~8月	△ 12.6	8.4	△ 25.2	2.0	△ 17.5	10.0	22.8	△ 13.8	58.9	6.1

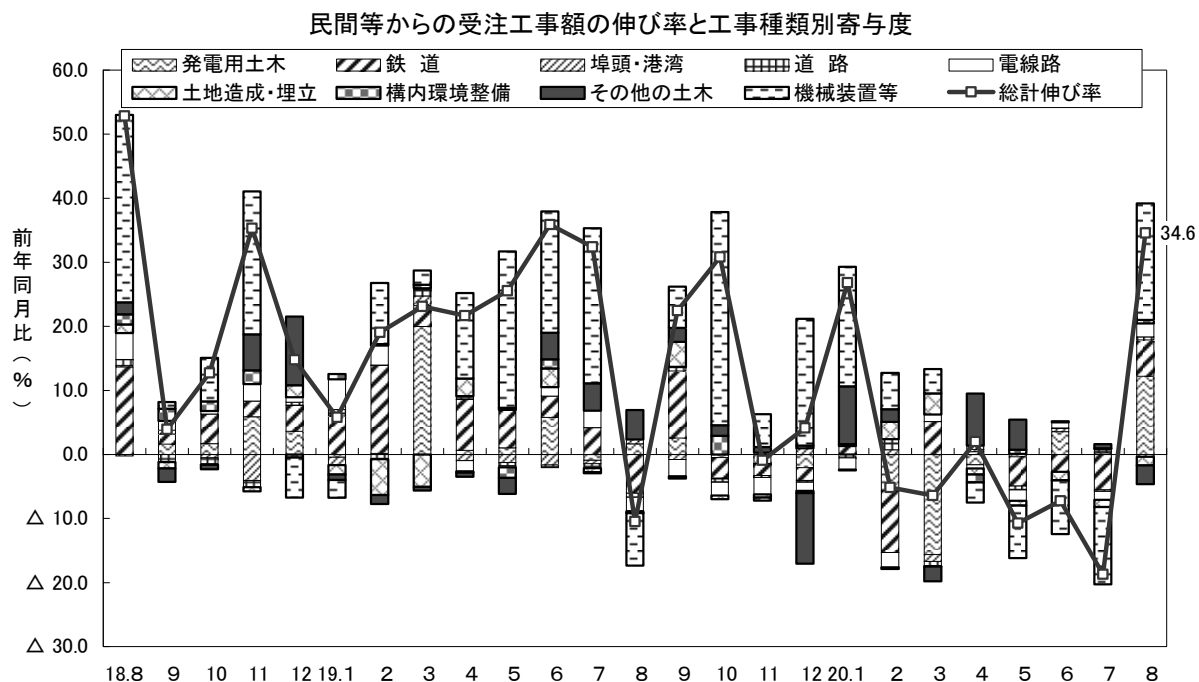
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事及び機械装置等工事）

8月の土木工事及び機械装置等工事の受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は3,422億円で、前年同月比34.6%増加（4ヶ月ぶり）した。

発注者別でみると、製造業（前年同月比59.9%増、寄与度+18.5）、電気・ガス・熱供給・水道業（同59.2%増、寄与度+12.5）等が増加し、不動産業（同43.4%減、寄与度-2.9）、卸売業、小売業（同69.7%減、寄与度-2.5）等が減少した。

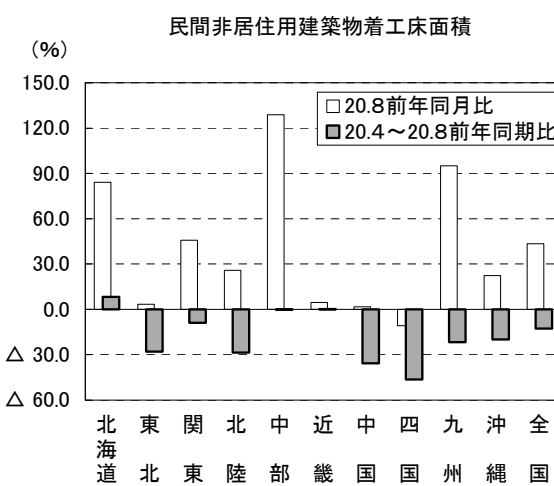
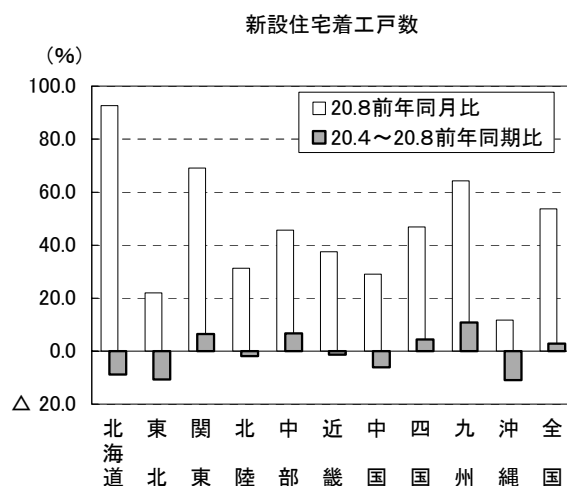
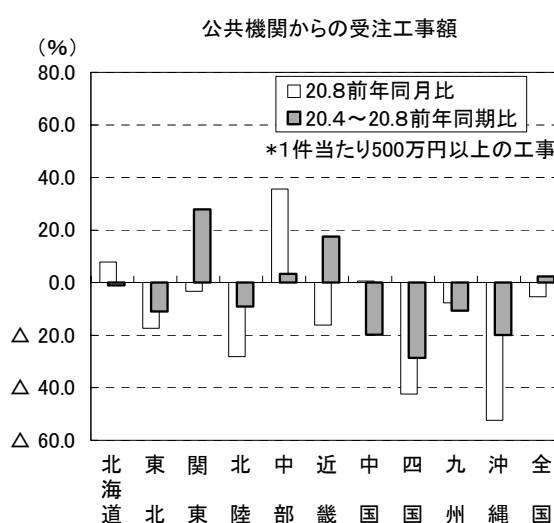
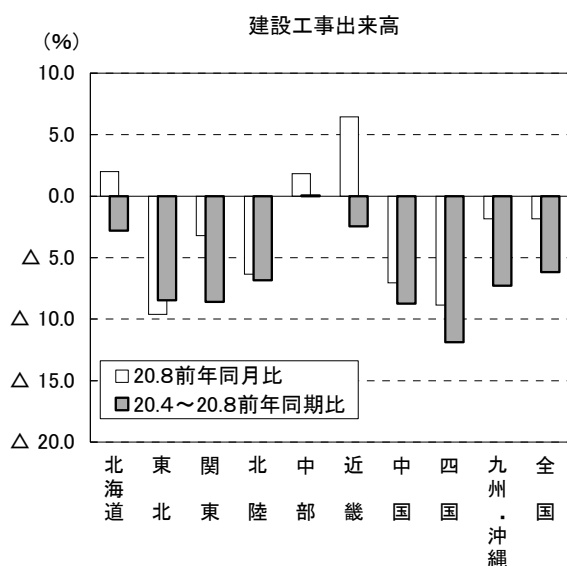
工事種類別でみると、機械装置等工事（寄与度+18.2）、発電用土木工事（寄与度+12.2）等が増加し、管工事（寄与度-2.0）、土地造成・埋立工事（寄与度-1.3）等が減少した。



区分		(前年比・%)								
年度年月		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等
年	17年度	3.6	△5.3	△0.8	120.6	38.1	18.0	51.0	7.2	△11.9
	18	13.5	110.9	32.2	△1.0	△1.0	17.6	△24.4	25.1	10.6
	19	12.5	△39.8	7.7	△23.0	△9.7	△7.2	18.1	3.1	35.1
月	19年8月	△10.4	100.6	△30.3	90.5	△36.6	△20.4	△3.7	△0.6	△19.0
	9	22.4	47.2	62.5	△61.5	42.2	△22.6	51.6	△9.3	18.0
	10	30.8	△17.7	△21.0	△15.3	△26.8	△14.9	△8.8	76.9	76.5
	11	△0.9	△23.3	△14.5	47.1	△28.7	△21.3	△6.7	△13.1	11.9
	12	4.1	△46.8	△12.6	104.6	△16.9	△12.9	△4.5	13.4	61.1
	20年1月	26.8	7.0	7.1	△20.1	△19.1	△9.8	4.6	△3.8	53.0
	2	△5.1	△84.2	△41.9	128.4	294.6	△22.3	51.8	△10.2	14.2
	3	△6.4	△89.7	24.1	△42.3	△48.7	17.6	50.3	4.0	13.7
次	4	2.0	△34.9	2.6	35.3	44.4	△3.7	△11.9	△28.9	△8.7
	5	△10.7	△13.5	△28.2	20.1	△40.5	△18.9	△10.8	23.0	△16.9
	6	△7.3	63.2	△18.4	47.3	5.7	8.6	△13.8	△2.0	△21.5
	7	△18.7	24.4	△39.8	△67.4	90.3	△7.1	△25.1	2.2	△27.7
	8	34.6	331.6	36.4	△22.0	41.2	21.9	△17.7	15.2	46.3
累計	4月～8月	△1.8	76.1	△11.4	8.8	20.0	△1.5	△15.3	0.7	△8.9

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

## (6) 地域別動向



区分 地域	出来高		受注・着工			企業	雇用		有効求人倍率	
	建設工事出来高	公共機関受注	新設住宅	民間非居住用建築物	民間等受注(土木・機械)	建設業倒産件数	建設技能労働者不足率(6職種計・原数値) 8月		有効求人倍率(季調済) 8月	
	4月~8月	4月~8月	4月~8月	4月~8月	4月~8月	4月~9月	%	前年差	倍	前月差
北海道	△ 2.8	△ 1.0	△ 8.9	8.2	16.4	45.0	△ 0.8	△ 2.2	0.49	△ 0.02
東北	△ 8.5	△ 11.0	△ 10.8	△ 28.0	△ 6.8	7.1	△ 1.8	△ 1.0	0.58	△ 0.03
関東	△ 8.6	27.9	6.5	△ 8.8	1.3	12.3	0.5	△ 2.8	1.00	△ 0.04
北陸	△ 6.8	△ 9.1	△ 1.8	△ 28.5	28.1	44.4	△ 0.7	△ 2.4	0.95	△ 0.03
中部	0.1	3.3	6.6	△ 0.3	13.4	17.1	△ 0.3	△ 1.9	1.33	△ 0.04
近畿	△ 2.5	17.6	△ 1.3	0.2	5.6	16.1	1.5	0.0	0.86	△ 0.01
中国	△ 8.7	△ 19.8	△ 6.2	△ 35.7	△ 28.2	114.3	△ 1.0	△ 4.6	1.03	△ 0.03
四国	△ 11.9	△ 28.6	4.3	△ 46.3	△ 37.0	3.2	△ 1.8	△ 2.3	0.82	△ 0.02
九州	△ 7.3	△ 10.7	10.8	△ 21.8	△ 28.7	27.6	△ 5.9	△ 7.3	0.62	△ 0.02
沖縄	—	△ 19.9	△ 11.0	△ 20.0	△ 72.1	0.0	0.8	0.0	0.37	△ 0.02
全国	△ 6.2	2.4	2.9	△ 12.6	△ 1.8	21.2	△ 0.5	△ 2.2	0.86	△ 0.02

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計調査」、「建設労働需給調査」、帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「職業安定業務統計」

注) 建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。  
建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。  
雇用に関する指標の前年差、前月差の単位は、ポイント。